資料１

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）導入に向けた民間事業者との共同実証実験の実施について

情報政策課

那覇市は、これまでパソコン上で行ってきた定型的で膨大な量の業務の効率化や作業ミスの防止などを目的として、ソフトウエアのロボットが業務を代行するＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）の実証実験を民間事業者と共同で行います。

なお、今回の実証実験においては複数の事業者の協力のもと、業務内容に応じ２種類のRPA ツールを使い実施します。

１　目　的

市が行っている業務の内、パソコン上での定型業務にRPAツールを導入、自動化することにより、業務効率や職員の業務負担軽減が可能となる業務の見極めと導入効果を検証することを目的とする。

また、複数のシステムを同時に使用する煩雑な業務などについて、各システムの必要な情報を必要なタイミングで集約表示し、システム操作時の的確な操作をポップアップ表示するなどのアシスト機能を搭載した業務をサポートする半自動ロボットについても検証を実施する。

２　期　間

平成 30 年 10 月から平成 31 年２月（3 月頃結果報告予定）

３　検証ツールおよび協力事業者

①NEC Software Robot Solution（ｴﾇｲｰｼｰ ｿﾌﾄｳｪｱ ﾛﾎﾞｯﾄ ｿﾘｭｰｼｮﾝ）

・日本電気株式会社（代表取締役執行役員社長 兼 CEO　新野　隆）

・株式会社　興洋電子（代表取締役社長　多良間　洋二）

②NICE　APA（ﾅｲｽ・ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾌﾟﾛｾｽｵｰﾄﾒｰｼｮﾝ）

・株式会社アイティフォー（代表取締役社長　東川　清）

４　実証実験の内容

市では、これまで ICT を活用したシステムの導入などにより、業務の効率化を進めてきたが、紙ベースでの業務が数多く残っており、膨大な量のデータ入力やチェック作業がまだ多くあるため、今回の実証実験により更なる業務効率化を図るため、RPA や OCR を活用し、以下の検証テーマについて業務の正確性や業務効率などの効果を検証し、本格導入の可否について検討をします。

検証テーマ（案）

・市民税業務へのRPA適用による業務効率化
・紙ベースの税申告書や特別徴収異動届出書などのOCRとRPA連携の正確性・業務効率性の検証
・半自動ロボットを使った業務効率化の検証
・その他

5　期待される効果

＜当市＞

・民間事業者の技術・ノウハウを用いた業務課題の解決手法などを検証できる。
・共同研究の実績・効果を測定した上で、本格導入が可能となる。
・職員による既存業務プロセスの見直し（BPR）促進。
・時期により繁忙となるなど、平準化しにくい業務の負担軽減に繋げられる。

＜協力事業者＞

・共同研究の実施により、行政現場のニーズや制約条件などを把握することができる。
・保有する技術やサービスを、行政の現場で実証することができる。

6　他市の状況

民間事業者との実証実験

茨城県つくば市	H30年１月
奈良県奈良市	H30年４月
愛知県犬山市	H30年６月
愛知県一宮市	H30年６月